

## 行政事業レビュー・公開プロセスの結果等を踏まえた中間とりまとめ

平成22年6月30日

外務省

### 1. 行政事業レビューへの取組状況について

#### (1) 行政事業レビュー会合の開催

4月16日（金）の第一回行政事業レビュー会合以来、計11回の行政事業レビュー会合を開催（①4月16日（3時間）、②20日（2時間）、③22日（2時間）、④27日（3時間）、⑤5月11日（2時間）、⑥14日（2時間）、⑦18日（2時間）、⑧21日（2時間）、⑨6月1日（3時間）、⑩8日（3時間）、⑪11日（2時間）の計26時間）。

予算の支出先や用途等について十分な実態把握できる程度に案件を細分化（外務省全体で約700件）した上で、全部局を対象としたレビューを実施。このことより、予算執行にあたる担当部局自らがより積極的に効果的・効率的な予算執行に取り組むようになっており、確実に意識改革が進んでいる。

#### (2) 行政事業レビュー・公開プロセスの実施

6月14日（月）、15日（火）の2日間にわたり、計25事業（平成21年度予算総額：3,001億円）を対象に行政事業レビュー・公開プロセスを実施（結果については別添参照）。公開プロセス対象事業の選定に当たっての主な基準は以下の3点。

- 「無償資金協力及び技術協力」、「在外公館施設」等、事業規模が大きい事業
- 「招へい」、「任意拠出金」等、これまで事業仕分け等、過去に内外から指摘を受けたことがあり、議論を深める必要のある事業
- これまで必ずしも公開の場での議論の対象とならなかったものの、外部の視点による検証を行うことが有効と判断される事業

### 2. 今後の行政事業レビューへの取組方針について

#### (1) 行政事業レビュー会合（含む公開プロセス）の結果を踏まえ、当省としては以下の考え方にに基づき平成23年度概算要求作業を行う。

- 各事業に共通する以下のような論点に関し、行政事業レビュー会合（含む公開プロセス）において対象とならなかった案件についても見直し、その結果を概算要求に反映させていく。
  - ー スキームが細分化されすぎていることによって効率的な予算執行が妨げられている場合には、スキームの統合・合理化を図る。

- － 中間コストの徹底した削減を通じた節減を図る。国際機関等への任意拠出金については管理費コストの抑制を通じた節減を図る。
  - － 公益法人との契約については、真に競争性が確保されているか否か精査する。
  - － 執行率の低い事業については、その理由を精査した上で、執行実績を踏まえた予算の見直しを行う。
- 担当部局における予算の支出先や用途等の把握水準を、公開の場において検証することにより、担当部局の把握水準が案件、部局、支出先の情報開示状況等によってまちまちであることが明らかになり、把握水準の改善を指摘されるケースも散見された。今後、担当部局に対しては予算の支出先や用途等の把握水準の向上を促すとともに、効果的・効率的な予算執行に向けた不断の見直しを求めていく。
  - 公開プロセスにおいて「抜本的改善」等の大きな見直しの方向性のみが示された事業については、概算要求において公開プロセスの議論の内容を真に踏まえた見直しを行い、具体的な見直し策を示していく。

## （２） 今後の行政事業レビューの進め方

### < 6月下旬～7月上旬 >

公開プロセス対象事業以外の案件に係る行政事業レビューシートの公表、国民からの意見募集。

### < 7～8月 >

各部局に対するヒアリングを実施しつつ、行政事業レビュー会合、公開プロセスでの外部有識者によるコメント、国民からの意見等を概算要求に反映。

### < 8月末 >

概算要求提出に併せて、行政事業レビューシート最終版を公表予定。

## （３） レビュー結果の反映

行政事業レビューシートを概算要求用資料としてそのまま活用することにより、レビュー結果を確実に予算要求に反映する。また、本年度の執行からレビュー結果を反映できる案件については、契約価格の引き下げに向けて交渉する等、速やかに執行を見直していく。

（了）